

## 船舶事故調査報告書

平成23年6月23日  
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決  
 委員 横山 鐵 男（部会長）  
 委員 山本 哲 也  
 委員 石川 敏 行  
 委員 根本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成22年11月11日 05時30分ごろ～07時00分ごろの間）
発生場所	長崎県五島市久賀島 <sup>ひさか</sup> 西岸沖 糸串鼻灯台から真方位093° 1.3海里（M）付近 （概位 北緯32° 47.7′ 東経128° 50.1′）
事故調査の経過	平成22年11月11日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 <sup>こうわ</sup> 江和丸、0.7トン NS3-402830（漁船登録番号）、個人所有 5.56m（Lr）×1.85m×0.75m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数25、平成5年7月5日
乗組員等に関する情報	船長 男性 70歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士 免許登録日 昭和57年8月10日 免許証交付日 平成20年5月13日 （平成26年4月21日まで有効）
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	大破
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、アラカブはえ縄漁のため、平成22年11月11日05時00分ごろ久賀島西方沖の漁場に向けて五島市福江港を出港した。 本船は、07時00分ごろ、久賀島西岸沖で作業中の漁船によって久賀島西岸の岩場に乗り揚げているところを発見され、海上保安庁へ通報された。 船長は、08時50分ごろ、捜索中の巡視艇により、久賀島西岸から約10m沖で海中に投入された本船のはえ縄に絡んでいるところを発見され、溺死と検案された。
気象・海象	気象（福江特別地域観測所）： 11月11日 05：00 天気 晴れ、風向 西、風力 2 06：00 天気 晴れ、風向 西南西、風力 2 07：00 天気 晴れ、風向 西南西、風力 2

	海象：うねりの波高 約0.5m、水温 約21℃	
その他の事項	<p>船長は、ふだん、福江港を05時00分ごろ出港し、08時00分ごろ～09時00分ごろ帰港していた。</p> <p>久賀島西岸沖の漁場は、福江港から約7Mの距離であり、本船の速力は、約10～15ノットであった。</p> <p>船長は、発見時、救命胴衣を着用していなかった。また、救命胴衣は、本船発見時、船内にはなかった。</p>	
分析	<p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>船長の死因は、溺死であった。</p> <p>本船は、航行する速力と漁場までの距離から、05時30分ごろ久賀島西岸沖の漁場に到着したものと考えられ、その後、07時00分ごろ岩場に乗り揚げているところを発見され、また、その付近で本船のはえ縄が海中に投入されていたことから、この間において、はえ縄漁を作業中に船長が落水したものと考えられるが、落水した状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>船長は、落水して溺死したものと考えられるが、死亡に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p>
原因	本事故は、本船が久賀島西岸沖で作業中、船長が落水したことにより発生したものと考えられる。	
参考	<p>本事故の防止策として次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・救命胴衣の着用</li> </ul>	

※ 「参考」は、今後の同種船舶事故等の再発防止のために役立つと考えられる事項を列挙したものである。